

KodomoFund活動通信

2003年10月

手工芸品

ジュン郡には公立ジュン病院があります。その敷地内に、エイズデイケアセンターがあります。そこには、毎日 PWH/A (People With HIV/AIDS) の人たちが集まります。毎週木曜日は活動日で、日本の歌を歌い、折り紙などを一緒にします。ここに集まる人たちはとてもよく笑います。ここがエイズデイケアセンターということを忘れてしまうくらいです。



しかし、現状は村の中では差別もまだ残っています。また、症状が進むと十分に働けないため、医療費が高いタイでは薬が買えなくなってしまいます。なんとか現金収入を得ようと、洋服・かばん・毛糸のたわしを作るグループがあります。写真のように、すべて手作りで素敵なものばかりです。

コドモファンドはこのような現状と活動を日本人にも知っていただくために、グループで作った手芸品を商品開発したいと考えております。毛糸のたわしは日本でも売られていますが、他のものはまだ準備段階です。



家庭訪問

コドモファンドでは、ジュン郡の AIDS で親を亡くしている子ども達(46人)に奨学金制度を設けています。小学生が年間 1,500 バーツ、中学生が年間 2,000 バーツです。その奨学金が一体、どのように使われているのか、なにか変化はあったか、現在の子どもの状況はどうか、一人一人の家庭を訪問し、保護者と子どもと一緒に話し合います。実際に家庭を訪ねてみると、普段わからないような現実が見えてきます。親を亡くして、心に中に空洞ができてしまう子どももいます。家庭を訪問することによって、子ども達が少しでも心を開いてくれればと願っています。